

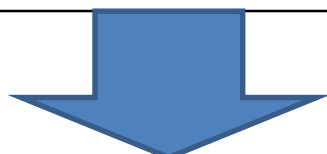
# 高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する 基本方針の改定後の取組について

平成27年10月6日  
経済産業省

# 高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針の改定後の取組

## これまでの取組状況

- 本年5月22日に基本方針を改定（閣議決定）。
  - 最終処分の必要性や基本方針改定の考え方等について、広く国民の理解を得ていくため、全国シンポジウムを開催。
  - 総務省の協力を得て、都道府県ごとに自治体向けの説明会を開催。
- 新たな方針（国が前面に立つ）を評価する声がある一方、地層処分の安全性に対する疑問や、国による一方的な押し付けを懸念する声もある。



## 当面の取組方針

- 本年10月を「国民対話月間」とし、これまでに寄せられた国民の声を踏まえ、以下の点を中心に更なる国民理解の醸成を図る。
  - －自然災害の多い日本においても、地層処分に適した場所は存在。その適性は、多段階の調査と評価により慎重に確認される。
  - －科学的有望地の提示は、国民的議論の契機となることを期待するもの。提示後も全国・地域の方々への理解活動を実施。そのプロセスを経ずに自治体に調査受入れを要請することはない。
- こうした点について、総務省の協力を得て、かつ都道府県の理解を得ながら、全国の市町村に対しても情報提供を行い、理解と協力を得ていく。

# 科学的有望地の要件・基準の検討状況

- 科学的有望地の具体的な要件・基準について、総合資源エネルギー調査会で専門家による検討を実施中(昨年10月～)。
- 地球科学的観点を中心に、9月に検討の成果を整理。今後、社会科学的観点を加えて、議論を継続。

## 地球科学的観点を中心とした安全性に関する検討

※9月までの検討の成果の整理

### ○地質環境特性及びその長期安定性に関する検討

＜回避すべき＞ 火山、活断層の近傍

＜回避が好ましい(※)＞ 隆起・侵食が大きい地域、地温が高い地域、  
火山性熱水・深部流体が存在する地域

### ○地下施設・地上施設の建設・操業時の安全性に関する検討

＜回避が好ましい(※)＞ (地上施設) 火砕流の影響を受ける地域  
(地下施設) 軟弱な地層である地域

### ○輸送時の安全性に関する検討

＜好ましい＞ 港湾からの距離が十分短いこと(沿岸部)

(※) 利用可能なデータの精度等の理由から「回避すべき」範囲(地域)を具体的に示せないため、  
代替指標を用いて「回避が好ましい」範囲(地域)を設定した。

適性の低い地域

「回避が好ましい」の扱いに  
については、今後検討

上記に該当しない地域  
(適地)

より適性の  
高い地域

## 社会科学的観点からの検討

これから議論を行っていく予定